

令和8年度岩倉南小

## 学校運営協議会ニュース NO. 1

### 「令和8年度 学校運営協議会スタート」

令和8年5月30日

岩倉南小学校学校運営協議会理事会

理事長 二股 茂

京都市立岩倉南小学校

校長 谷村 茂生

学校運営協議会は、「地域とともにある学校」をめざし、学校・家庭・地域がそれぞれの立場から関わり合いながら、子どもたちの学びと育ちを支えていくしくみです。京都市においても、地域と学校が目標を共有し、協働して取り組むことを大切にしています。

学校運営協議会には、「理事会」と「企画推進委員会」があります。

理事会は、学校教育目標や目指す子ども像などの学校運営の基本方針を承認するとともに、学校や子どもたちの課題について話し合う場です。「どのような子どもを育てていくのか」「どのような地域で子どもを育てていくのか」という視点を大切にしながら協議を行っています。また、企画推進委員会は、理事会での話し合いをもとに、地域として学校とどのような活動に取り組むかを考え、具体的な実践につなげていく役割を担っています。

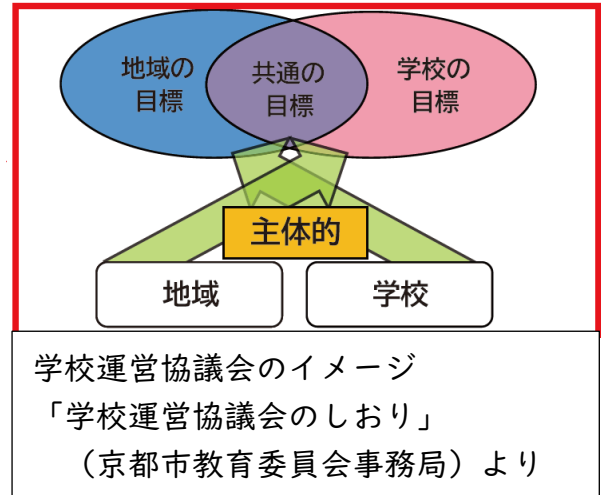
今年度は、5月13日に第1回の理事会を開催しました。

はじめに、学校運営の基本方針について、谷村校長より説明がありました。変化の大きいこれからの社会においては、「主体的に考え行動する力」「多様な他者と関わり協働する力」「新たな価値を見いだす力」が重要であり、これらは学習指導要領でも大切にされている資質・能力であることが示されました。

また、岩倉南小では、これまで大切にしてきた教育の実践や子どもたちの姿を踏まえ、学校教育目標や目指す子ども像を設定していることについて説明がありました。さらに、「子どもたちの学びと教職員の学びはつながっている」という考えのもと、教職員自身も学び続けることや、互いに支え合いながらよりよい教育をつくっていくことの大切さについても話がありました。

その後の協議では、体験の積み重ねや振り返りを通して子どもたちの学びが深まること、地域の方々との関わりが子どもたちにとっての貴重な学びの機会になることなどについて意見が出されました。また、日頃の学校の様子から、教職員のあたたかな関係性や、地域の特色を生かした教育活動が進められていることが伝わってくるといった声も聞かれました。

学校と地域がともに考え、関わり合う中で、これからの子どもたちの学びの在り方について理解を深める機会となりました。





岩倉南小学校 学校教育目標

ともに学び合い 心やさしく たくましく生きる子の育成  
～やさしさと思いやり 一生懸命はかっこいい～

<めざす子ども像>

○やさしさと思いやりをもち、自分で考え行動する子

<育成をめざす資質・能力>

「主体的に取り組む力」

\*非認知能力の育成

めざす学校像

- 「期待の登校」「満足の下校」
- 子どもも大人も、誰もが行きたくなる学校

「粘り強くやり遂げる力」

「思いやりをもって接する能力」

めざす教職員像

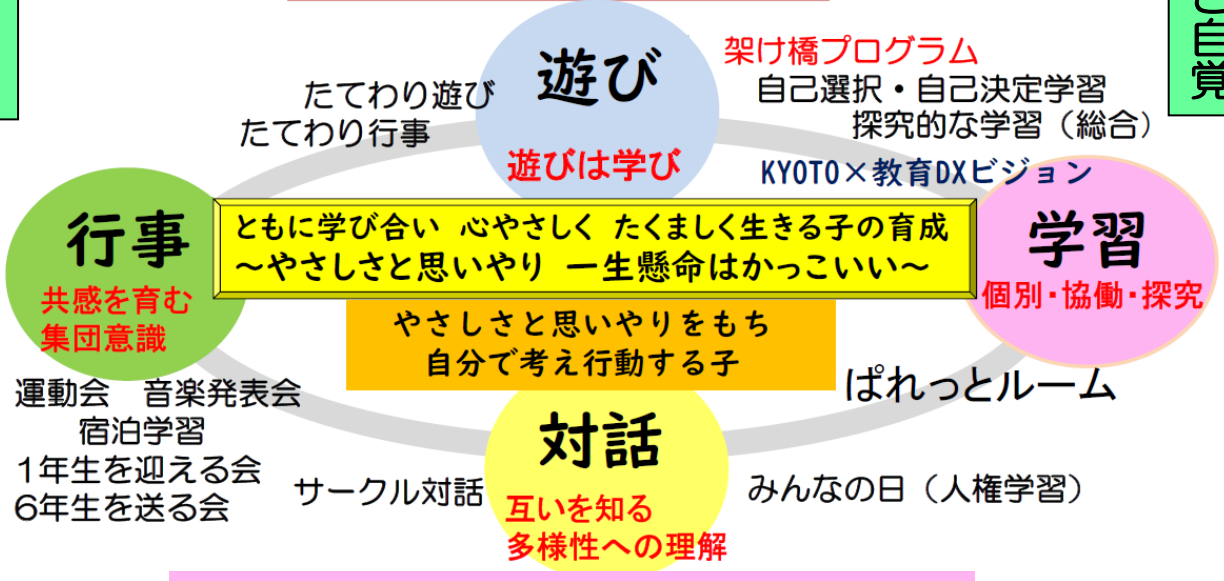
- 子ども一人一人を大切にする教職員
- 子どもの手本(ロールモデル)となる教職員

子どもを真ん中に  
おいて考える

家庭・地域との連携

教職員の責任と自覚

岩倉南小の教育活動



個別最適な学び・協働的な学びの充実を通じて  
主体的・対話的で深い学びを実現する

- \*架け橋プログラム・・・幼児教育と小学校教育の育ちや学びの連続性・一貫性。(幼保小連携) 小学校の学びは、0からのスタートではない。
- \*KYOTO×教育 DX ビジョン・・・デジタルならではの強みを生かした学習活動の充実等。自己選択・自己決定学習場面での一人一台端末の利活用。
- \*ぱれっとルーム・・・学校や教室に来づらい児童の居場所の選択肢として別室を設置。支援員を配置し、一人一人の児童に寄り添えるように。(個別の相談による)

- 学校運営協議会 各種企画推進委員会の充実 ～ゲストティーチャーによる総合学習～
- ★世代を越えたふれあい委員会 (1・2年生・6組)
  - ★自然環境を守る委員会 (3年生)
  - ★伝統文化を大切にする委員会 (4年生)
  - ★地域の絆を結ぶ防災委員会 (5年生)
  - ★思いやりの心を育む福祉委員会 (6年生)

子どもが学び、学び合う学校 教職員が学び、学び合う学校に **ウェルビーイング**